

特定非営利活動法人農都会議 2019年度通常総会 議事録

1 日 時 2019年6月11日(火) 15:30~16:00

2 場 所 東京都港区エコプラザ 会議室

3 正会員総数 16名

4 出席者数 15名 (うち表決委任者 5名)

5 審議事項

(1) 議長選出

(2) 第1号議案 2018年度事業報告・決算報告の件

(3) 第2号議案 役員変更の件

(4) 第3号議案 2019年度事業計画・予算計画の件

6 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 総会成立の確認の後、議長として杉浦英世が選出された。

(2) 議長は、第1号議案について説明し、承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

(3) 議長は、第2号議案について説明し、議場に諮ったところ、満場異議なく承認可決した。

(4) 議長は、第3号議案について説明し、承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

7 議事録署名人の選任に関する事項

議事録署名人として山本登、竹林征雄が選出された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2019年6月11日

議 長 杉浦 英世 印

議事録署名人 山本 登 印

議事録署名人 竹林 征雄 印



2019年6月11日

NPO 法人農都会議 2019年度通常総会 議事次第

- 1 開会挨拶 代表理事
- 2 議長選出
- 3 定足数の報告・確認
- 4 議事録署名人の選出
- 5 議案審議
 - 第1号議案 2018年度事業報告・決算報告の件
 - 第2号議案 役員変更の件
 - 第3号議案 2019年度事業計画・予算計画の件
- 6 閉会

<第1号議案>

NPO 法人農都会議 2018年度事業報告

2019年6月11日

1. 事業実績

- (1) 特定非営利活動法人農都会議（以下、「本法人」という。）は、2018年度、2回の理事会を開催し、各グループの運営委員の承認、役員任期満了に備えて理事候補選定のルール化などの審議と意見交換を行った。
- (2) 本法人内の各グループは月毎に会議を開いて運営を行ってきた。勉強会、フィールドワーク等の各グループの実績については、別紙の「行事一覧」に記す。
- (3) 年度終盤に新規事業となる「プレミアム勉強会 農都アカデミー」を開催し、次年度に本格展開する準備を整えた。

2. 総括

(1) 概要

- ・本法人の活動は、引き続き、『市民協働』と『地域協働』の理念に基づき『事業型NPO』をめざして行われている。

(2) 提言

- ・2018年度は、政策づくりや提言取りまとめの実践講座「政策提言SG」を3回開催し、2018年提言として「再生可能エネルギー・バイオマス活用、森林・林業再生、持続可能な地方創生のための提言」を10月に取りまとめ、11月以降に省庁・団体等の関係機関へ提出した。

(3) 会員等

- ・本法人の2018年度の会員（2018年度年会費納入済の会員）は、個人正会員 40、個人賛助会員 58、法人・団体正会員 1、法人・団体賛助会員 3、合計 102だった（前年比 マイナス38）。G毎の内訳は、食・農・環境Gが5名で、残りはバイオマスWG。来年度は会員登録更新（年会費納入）への働きかけが必須であり、法人・団体会員獲得が引続き重要となる。
- ・ML参加者は、noutochiiki MLが390名、バイオマスWG MLが700名（以上、3月末時点。前年比 プラス56）。重複を考慮しても合計1,050名を超え、着実に増加している。
- ・会員ニュース（不定期のメールニュース）は、10回の配信（うち号外3回）を行ったが、会員限定の交流会等は開催できずに終わった（勉強会の会員優先や会員割引は実施した）。今後は、会員ニュースのコンテンツの充実や会員交流会の開催などの会員サービスに努めることが課題となる。

(4) 財務

- ・運営面及び財務面は、2016年4月のNPO法人化の後もバイオマスWGの活動による収入に支えられている状況に変化はなく、今後のセミナー事業等の充実と新事業の成果に期待したい。

(5) 組織運営

- ・事務局及び各グループを中心に事業活動を進めてきた。

NPO 法人農都会議 2018 年度会計決算報告

2018年4月1日～2019年3月31日

単位 (円)

科目	予算額	決算額	摘要
<収益>			
会費	980,000	430,000	法人・団体会員 4、個人会員 98
寄付	318,000	126,000	理事より
再生可能エネルギー普及事業 収益	1,500,000	1,167,274	バイオマス WG
環境保全・環境教育事業収益	—	—	食・農・環境 G
研修・体験・交流事業収益	0		
雑収益	0		
収益計	2,798,000	1,723,274	
<費用>			
広報・宣伝事業	660,000	450,000	WEB 費(委託分) ※約半額未払い
再生可能エネルギー普及事業	1,000,000	970,340	セミナー事業費(バイオマス WG)
環境保全・環境教育事業	—	—	食・農・環境 G
研修・体験・交流事業	100,000		農都交流・地域支援 G
事務費	900,000	286,000	賃借料、通信費、振込料、公課
その他経費	100,000		
費用計	2,760,000	1,706,340	
当期正味財産増減額	38,000	16,934	

正味財産期首残高	72,389	
当期正味財産増減額	16,934	
正味財産期末残高	89,323	

※2018 年度は、「特定非営利活動に係る事業」のみを行い、「その他の事業」は行わなかった。

本決算報告は、適正に処理されていることを認めます。

NPO 法人農都会議 監事 手塚信利



<第2号議案>

NPO 法人農都会議 役員変更の件

定款第16条の定めにより全ての役員の任期2年が終了した。それに伴い、定款第14条の定めにより次の者を役員に選任する。 ※ ()内は現職掌。

理事〔再任〕

杉浦 英世 (代表理事)
澤山 弘 (理事・アドバイザー)
住本 勉 (理事、食・農・環境Gグループ長)
田口 幸央 (理事、農都交流・地域支援Gグループ長)
松浦 晃 (理事、いばらき里山・バイオマス協議会 幹事)
山本 登 (理事・事務局長)

理事〔新任〕

高澤 真 (ちば里山・バイオマス協議会 代表幹事)
原田 博夫 (いばらき里山・バイオマス協議会 会長)
今永 信之 (ダンタニ・グリーンエナジー・ソリューションズ合同会社 代表)

監事〔新任〕

竹林 征雄 (理事・アドバイザー)
高橋 章 (ちば里山・バイオマス協議会 監査役)

任期満了につき退任

理事 木村 忠夫
理事 澤 一誠
理事 広本 公朗
監事 手塚 信利

<第3号議案>

NPO 法人農都会議 2019 年度事業計画

1. 2019年度活動方針

- ・本法人は、従前から、①市民協働を次世代へ継承、②勉強会・フィールドワーク・提言等の活動の継続、③地域の事業化支援の三つの方針を掲げ、継承されてきたが、改めて、『市民協働・地域協働』を基本理念として、『事業型 NPO』をめざすものとする。
- ・バイオマス WG は、引き続き、再エネ推進の加速化と地域のバイオエネ事業化を推進する。農都交流・地域支援 G は、農林業に関する市民・企業・地域の課題解決、農山村と都市との交流（農都交流）に取り組む。WG 及び地域 G は、運営委員の重複を活かして、一体的に課題に取り組む。食・農・環境 G は、引き続き、関連課題に取り組む。
- ・昨年度スタートした農都アカデミーを「バイオマスアカデミー」と改め、本年度は本格的に取り組むこととする。バイオマスの熱利用の現状の課題・問題点を解決するため、日本に適合したバイオマス熱利用システム・エンジニアリングの確立の一助とするべく、関係者間のネットワークを拡げ、課題の明確化と解決の方向性明示を図る。
- ・昨年後半よりスタートした地域型バイオマス関係 6 団体（JORA、ガス協、JWBA、BIN、シュタットベルケ）との共同提言取りまとめに取り組むとともに、独自に農都会議の 2020 年提言の取りまとめを図る。

2. 非営利事業

本法人は、定款第 3 条、第 4 条及び第 5 条に基づき、次の非営利事業を行う。

(1) 広報・宣伝事業

- ・情報発信、会員勧誘等。
- ・WEBサービス（ホームページ、Facebook、ML：メーリングリスト、会員ニュース、ほか）。

(2) 再生可能エネルギー普及事業

- ・再生可能エネルギーの導入加速化。
- ・地域のバイオマスエネルギー事業化の支援（千葉県中部、茨城県南部、飯能市、富山市、他）。
- ・各種セミナー・研修等。
- ・アンケート調査、提言とりまとめ等。

(3) 環境保全・環境教育事業

- ・食・農・環境に関連する勉強会等。

(4) 研修・体験・交流事業

- ・各種フィールドワーク等。

3. 実施体制

(1) 運営・財務

- ・会員獲得、ネットワークの拡大、バイオマス事業化支援の深化、企業のCSR活動との連携等を通じて運営・財務体制の強化を図り、本法人に対する社会の期待と公共の責務に応えたい。
- ・事務局の活動経費を確保し、負担の偏重を低減しながら、事務の効率化を進めるとともに、管理運営体制の一層の充実を期したい。
- ・地域循環共生圏や森林環境譲与税等の関連補助事業及び他の助成事業を活用して、地域バイオマス事業等への支援を実施し、講師派遣、コンサルティング活動などを通して対価を得る

ことを検討し、実施できるような態勢を整えたい。

- ・バイオマスアカデミーや地域における森林環境税の関連事業などを推進する中で、会員拡大、特に法人・団体会員の拡大に努める。
- ・学生無料会員や事業ボランティアは裾野の拡大と若者世代への浸透につながるので検討する。

(2) 各グループ

- ・各グループ、スタディグループは、引き続き、創意工夫して市民協働の事業を進める。

4. セミナー事業プラン（勉強会、フィールドワーク、研修等）

- ・バイオマス WG 及び農都交流・地域支援 G は、協力しながら、従来の再エネ推進の加速化・地域のバイオエネ事業化支援の基本方針を堅持して事業に取り組む。
- ・勉強会は、各事業のテーマを取上げ、その分野の講師を招くなど、具体的に役立つような企画も行う。また、将来の研修事業につなげるため、技術的要素のある勉強会等にも取り組む。
- ・フィールドワーク・体験活動は、相応しい場所、相応しい講師を選別し、会員の参加者が来やすいもの、会員増に効果があるものを行う。
- ・バイオマスアカデミーについては、バイオマス熱利用をメインテーマとして、日本のバイオマス燃料・熱利用の状況に適した設備導・システム導入、熱設計、エンジニアリング・施工の確立をめざして活動を推進する。
- ・ちば里山・バイオマス協議会、飯能木質バイオマスエネルギー協議会、いばらき里山・バイオマス協議会及び J-SCA との共催行事は、引き続き、本年も実施する。
- ・地域型バイオマス関係 6 団体との共同開催による「地域型バイオマスフォーラム」を 7 月に実施し、省庁・団体等の関係機関及び全国の地域団体・自治体等との結びつきを強化する。

5. 地域の事業化支援事業プラン

- ・ちば、飯能、いばらきの各協議会への支援活動は継続して実施する。
- ・地域団体とともに自治体との連携を強化し、企業の CSR 活動との連携も検討する。
- ・コンサルティングの実務を担う専門家のネットワークを築き、また、事務局を強化して関連事務に対応できるようにする。
- ・日本で培われた技術等を途上国へ移転することを目的として、林業への「外国人技能実習制度」を導入すべく、関係先に働きかける。制度を活用し、人手不足の顕著な地域の林業へ拡大・適用することをめざす。今年度も、外国人技能研修制の林業における需要の有無、必要な法令手続、外国人受入組合設立等の調査を実施する。
- ・地元との協働、キーマン探しが必須のポイントとなる。

NPO 法人農都会議 2019 年度予算計画
2019年4月1日～2020年3月31日

単位 (円)

科目	予算額	摘要
< 収益 >		
会費	660,000	法人・団体会員 10 名、個人会員 150 名を予定
寄付	126,000	理事より
再生可能エネルギー普及事業 収益	1,500,000	事業化支援 50 万円、セミナー・勉強会等 100 万円
環境保全・環境教育事業収益	50,000	食・農・環境 G
研修・体験・交流事業収益	0	農都交流・地域支援 G
雑収益	0	
収益計	2,336,000	
< 費用 >		
広報・宣伝事業	660,000	WEB 等
再生可能エネルギー普及事業	1,000,000	事業化支援 30 万円、セミナー等 70 万円
環境保全・環境教育事業	50,000	食・農・環境 G
研修・体験・交流事業	0	農都交流・地域支援 G
事務費	420,000	賃借料・通信費等 6 万円、事務局等 36 万円 (3 万円×12 カ月)
その他経費	100,000	予備費
費用計	2,230,000	
当期正味財産増減額	106,000	

正味財産期首残高	89,323	
当期正味財産増減額	106,000	
正味財産期末残高	195,323	

※2019 年度は、「特定非営利活動に係る事業」のみを行い、「その他の事業」は行わない。

NPO法人農都会議 2018年度 行事等一覧

開催日	行事名	報告ページ	出演（所属等略）	会場	参加数	備考
2019年3月18日	農都アカデミー第1回～バイオマス熱利用の進め方・実践編	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/258	菅野明芳氏、梶山恵二氏、黒坂俊雄氏			
2019年2月14-15日	南知多「小規模農業見学」フィールドワーク			南知多町		
2019年2月11日	森林・林業創生シンポジウム in相模原	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/246	白石氏、藤森氏、塚本氏ほか	相模原市	67	
2019年2月6日	サステナブルコミュニティシンポジウム	https://www.jsc-a.or.jp/news/1765	資源エネルギー庁、環境省 最上町 豊田市 再	専修大学神田キャン	155	
2019年1月29日	「農のあり方を考える～中国最新農業から見た日本農業」シンポジウム	http://blog.canpan.info/shokunou/archive/1	松井武久氏	神明いきいきプラザ		
2019年1月23日	「森林環境税の施行に向けて」勉強会	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/243	林野庁計画課、小山町、ほか	神明いきいきプラザ	73	
2018年12月19日	第3回官民交流勉強会「再生可能エネルギーと地方創生」	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/239	内閣府地方創生推進事務局、総務省地域政策課	神明いきいきプラザ	61	
2018年11月28日	「さらなるバイオマス熱利用」勉強会	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/235	梶山恵二氏、荒川英敏氏	神明いきいきプラザ	54	
2018年11月7日	流山市「農福連携・農家見学」フィールドワーク			流山市		
2018年10月29日	「林業の次世代人材教育」勉強会	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/224	高橋幸男氏、大野航輔氏、米谷栄二氏	神明いきいきプラザ	48	
2018年10月18日	「日本農業の実相と未来を語る」シンポジウム	https://blog.canpan.info/noutochiiki/img/20181018	浅川芳裕氏	神明いきいきプラザ		
2018年9月26日	「地域エネルギーとまちづくり」勉強会	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/223	乾正博氏、大場龍夫氏、竹林征雄氏	神明いきいきプラザ	62	
2018年9月6・7日	九州バイオマス発電視察フィールドワーク	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/237	グリーン発電大分、中国木材、黒潮発電所	日田市、日向市、大生町	8	
2018年8月27日	「竹活用の最新事例」勉強会	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/215	藤崎稔氏、鹿島與一氏、高澤真氏	神明いきいきプラザ	67	
2018年8月1日	道志村バイオマス施設視察フィールドワーク	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/208	大野航輔氏	道志村	13	
2018年7月17日	「バイオガス発電の最前線」勉強会	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/206	瀬戸昌之氏、熱田正行氏、盛下学氏、竹林征雄氏、遠藤孝枝氏、小山田大和氏、鈴木悌介氏	神明いきいきプラザ	52	
2018年7月3日	小田原地域エネルギー視察フィールドワーク	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/205		小田原市	21	
2018年6月4日	記念フォーラム「ガス化発電設備の動向」	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/204	中村真一氏、平本光織氏、齋藤俊哉氏、竹林征	神明いきいきプラザ	65	
2018年5月21日	「エネルギー基本計画を考える」勉強会	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/203	山家公雄氏	神明いきいきプラザ	63	
2018年4月16日	「SDGsと再生可能エネルギー」勉強会	http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/202	星野智子氏、竹林征雄氏	神明いきいきプラザ	56	
2018年4月7日	「いばらき塾 第2回」フィールドワーク	http://blog.canpan.info/noutochiiki/archive/267	藤森隆郎氏、原田博夫氏、松浦晃氏	石岡市	約30	
2018年4月2日	「ちば塾 地域リーダー研修まとめ」	http://chibakyo.net/archives/422	ちば協幹事・会員・研修生	エコプラザ	8	